

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	ウェイファインディング研究会		主 査 名：渡邊 昭彦 就任年月：2006 年 3 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会		委員長名：布野 修司
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築や都市の大規模・複雑化に対し、早急に分かり易さの改善を検討する。 ・ 建築計画・都市計画等の各分野の研究者が、分かり易さ研究の手法等の特異性と共通性の理解を深める。 ・ 新しい研究手法等への展開を模索する活動を行う。 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有(4名)		
	渡邊 昭彦(豊橋技科大) 飯尾 昭彦(日本女子大) 森 一彦(大阪市大) 青木 義次(東工大) 小松 尚(名大) 鈴木 毅(阪大) 積田 洋(電機大) 日色 真帆(淑徳大) 藤井 晴行(東工大) 細田智久(豊橋技科大) 横山 勝樹(女子美大)		
設置 W (WG 名：目的)	無		
2006 年度予算	0 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回(年度内計画を含む) 一切経費が無いため大会時に開催
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1 .
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1 . 愛知県の財団の研究会(主査渡邊)で出発し、研究手法の研究会を3年間開催していたが、終了し、科学研究費を申請したが、採択されなかったため、各自自主研究し、大会時の委員会で発表している。</p> <p>2 . 主査の大学に3次元立体視動画像実験装置を導入し、実験の成果も出始めたので2007年度に見学会を開催する予定である。</p> <p>以上、研究会として活発とは言えないが、目標を達成している。</p>
委員会活動の問題点・課題	<p>1 . 空間研究に関心のある研究者等の集まりで、活動経費を科研等から得る予定が成功せず、今後更に挑戦する予定である。</p> <p>2 . 各自が研究で成果を上げており、大会時以外にも成果発表の機会を増やしたい。</p>

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。